

令和3年度事業報告

公益財団法人交通文化振興財団

令和3年度の当財団の事業活動は、昨年度に続き新型コロナウイルスの影響を受けた1年であった。京都鉄道博物館においては、4月25日から5月12日までの臨時休館を余儀なくされ、最多客期となるゴールデンウィークを2年連続で休館することとなった。開館時は（公財）日本博物館協会が策定した「博物館における新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」に沿って館内の感染症対策と館内で働くスタッフへの指導を継続するとともに、経費節減に努めながら運営を行った。しかしながら、2度にわたる緊急事態宣言と4度にわたるまん延防止等重点措置の発出等にともない、前年度よりは回復したものの、令和3年度の有料入館者数は430千人となった。今後も新型感染症の影響が予想されるが、永続的な博物館運営を継続させるための経費節減と高付加価値サービスの提供により収益増に引き続き取り組んでいく。

事務局では、交通資料調査センターにおいて、新型コロナウイルス感染拡大の影響による対外業務の一時休止を挟みながら、職員、関係者の感染防止に配慮したうえで、資料の収集、保存、調査、研究業務を継続的に行うとともに、デジタルアーカイブ「交通文化振興財団デジタル資料館」の運営や資料寄贈に対する相談への対応、外部団体の企画への調査協力、講演会への出講等を通じて交通の歴史資料を保存する意義の社会への浸透を図った。また、事務局ブログ等のweb媒体を活用し、情報発信や寄附金懇話活動を実施した。

I 博物館運営等を通じた交通文化の振興

1 京都鉄道博物館

(1) 常設展示

ア 新規展示

- ① 本館1F「鉄道のあゆみ」JR3社の豪華列車・JR西日本発足時の記念品展示（10月）
- ② 本館2階「鉄道と文化」SLやまぐち弁当展示（11月）
- ③ 本館1階「鉄道のあゆみ」、本館2階「関西の鉄道」紙資料展示替え、近鉄資料展示（1月）
- ④ 本館2階「アコモデーション」さくら・みずほ座席展示（3月）
- ⑤ 本館1階「車両工場」等での車両展示

KTR700形「丹後くろまつ号」（6/25～27）、キハ47形「〇〇のはなし」（6/25～7/6）、クル144・クモル145（8/6～18）、12系客車「SL北びわこ号」再現（9/30～10/5）、103系電車（12/17～21）、117系電車「WEST EXPRESS 銀河」（1/4～7）、キロ47形「伊予灘ものがたり」（1/21～3/22）、223系電車「森のQRトレイン」（3/5～6）

イ 展示品整備

鉄道ジオラマの模型車両のモーター・台車の整備調整、「列車を安全に走らせよう」の車両及び線路メンテナンス、運転シミュレーターのメンテナンス、展示車両修繕（103系扉、0系扉、スロネフ25塗装等）、0系戸ゴムおよび扉錠修繕、フラップ式発車標修繕、実物車両内電灯交換、実物車両前照灯交換 等

ウ 施設、設備工事

- ① 消防設備、空気環境測定、水質検査測定等の定期点検対応

- ② コロナ対策を含めた館内案内サインの修正・追加
- ③ 大型機器保守点検、防火シャッター点検
- ④ レストラン、キッズパーク、スカイテラス等ガラス面への遮熱フィルム設置工事
- ⑤ 特別収蔵庫加湿除湿器修繕
- ⑥ 本館2階鉄道ジオラマ機器改修作業
- ⑦ プロムナード鳩対策

(2) 企画展、資料展

ア 企画展等

- ① 山陽鉄道全通120周年記念企画展「鉄道と食のいろどり」(5/22～7/11)
明治期に様々な鉄道サービスを提供した山陽鉄道のあゆみと、同社から始まった鉄道と食の楽しみについて、現在の観光列車を交えて紹介。
- ② 大阪環状線開業60周年記念企画展「大阪環状線～大阪まあるく60年～」(11/27～3/6)
大阪に暮らす人々の通勤・通学等「生活の足」の役割を果たしてきたJR大阪環状線のあゆみと近年の「大阪環状線改造プロジェクト」の取り組みを紹介。

イ 資料展等

- ① 「清水薫写真展」(4/10～7/13)
- ② 「新収蔵 SL機関士画家太田忠の絵画」(7/24～11/28)
- ③ 「なつかしの交通科学博物館～大阪環状線とともに～」(12/4～翌4/3)

ウ 収蔵写真展

- ① 「ジョイフルトレインの旅」(4/3～7/25)
- ② 「鉄道にみる建築」(7/31～12/5)
- ③ 「写真で見る山陽新幹線」(12/11～3/27)

(3) イベント等

ア 春イベント「プラレールフェスティバル in 京都鉄道博物館」(3/20～5/11)

※令和2年度からの継続

- イ 山陽鉄道全通120周年記念企画展「鉄道と食のいろどり」関連イベント(5/22～7/11)
- ウ 「丹後くろまつ号」「〇〇のはなし」特別展示関連イベント(6/26～7/6)
- エ 夏イベント「きかんしゃトーマスとなかまたち in 京都鉄道博物館」(7/17～9/5)
- オ 秋イベント「扇形車庫にきかんしゃトーマスがやってくる」(9/9～1/10)
- カ 秋イベント『原出版75周年「きかんしゃトーマス展」』(9/11～11/13)
- キ あの姿を再び 京都鉄博でもう一度会える、「SL北びわこ号」(9/30～10/5)
- ク 開館5周年記念イベント ※4月～5月実施予定分を日程変更して実施(10/1～31)
- ケ 京都鉄道博物館ナイトミュージアム(10/29～31)
- コ 大阪環状線開業60周年記念企画展「大阪環状線～大阪まあるく60年～」関連イベント
(12/13～1/31)
- サ 新春SL頭出し展示(蒸気機関車・旧二条駅舎国旗掲揚)(1/2～10)
- シ 春イベント「チャギントンランドMINI in 京都鉄道博物館」(3/19～翌5/10)

- ス 京都鉄博LINE 公式アカウント友だち限定大感謝 DAY!! (3/20)
- セ 下京・京都駅前サマーフェスタ 2021 へ協力 (8/1～9/4)
- ソ 京都七条通界限商店街スタンプラリー2021 へ協力 (11/15～12/13)
- タ 第25回京都ミュージアムロード (スタンプラリー) へ協力 (1/26～3/21)
- チ 各種ワークショップ等の実施
 車両解説セミナー：「THE SHINKANSEN 0!100!500!」(4/17、18)、「食堂車～スシのおハナシ～」(7/3、4)、「103系」(11/13、14)
 展示品解説セミナー：「腕木式信号機」(6/12、13)、「硬券印刷機」(7/17、18、10/16、17)、「通票閉塞器」(9/18、19)
 工作教室：子ども工作教室「オリジナル缶バッジをつくろう！大阪環状線スペシャル」(12/18、19)、「オリジナル☆ポップアップカードをつくろう！」(3/19、20)
 館内ガイドツアー：「学芸員とめぐる鉄道の世界、非公開の収蔵庫・車両内部を拝見～動く蒸気機関車！夢の超特急！日本最大の扇形車庫、驚きの鉄道技術をたどる～」(まいまい京都主催 2月に2回実施)
 「事前予約で楽しむ京都旅」(京都市観光協会主催 7月～3月に13回実施)
 「モダン建築の京都」第4講義「モダニズム建築の京都」(京都市京セラ美術館展覧会関連 HIS 主催 11月～12月に3回実施)
- その他：鉄道映像上映「SL やまぐち号出発前日譚」(1/8～10)、「実況！大阪環状線」(2/12、13)
 夏のスペシャルワークショップ「キッズ向け鉄道車両解説！新幹線と貨物」(8/11～13)、「鉄道と空気のカンケイ～空気を知ろう！」(8/21、22)
- ツ 学芸員講座「おとなの学び講座」(4/15、5/20、6/17、7/15、9/16、10/14、11/18、12/16、1/20、3/17)

(4) 定例行事・活動

- ア 鉄道ジオラマの運転 : 1,988回
- イ SL スチーム号の運転：運転回数 2,416回、乗車人員 163,722人 (約68人/回)

(5) 広告・宣伝・誘致活動

| 項 目 | 数 量 |
|--|------------------------|
| ア JR媒体 (ア) ポスター等の掲出 (JR手配) (イ) 西 NAVI、ウエスト倶楽部会報誌等の掲載 | (イベント、通年ポスター) 5回 5回 |
| イ 案内チラシの配布 (ア) イベント用チラシ (JR手配) (イ) 通年チラシ | (イベント) 0枚 9,700枚 |
| ウ マスコミへのパブリシティの配布 (関係記者クラブ、出版関係各社等) | 合計約 70箇所へ配布 45回 |
| エ 誘致活動 | |

| | |
|---|---|
| (ア) ホームページアクセス件数 (2021. 4. 1～2022. 3. 31) | 1,951,846 件 (1 日平均 5,348 件) |
| (イ) フェイスブック投稿件数 | 271 件(1 ヶ月平均 22.6 件) |
| (ウ) マスコミ取材対応 | 327 件 |
| (エ) LINE@による情報配信 ・お友達登録数 ・情報配信 (クーポン配信含む) | 82,679 人 (年度末総累計) 41 件(1 ヶ月平均 3.4 件) |
| (オ) インスタグラム投稿 | 104 件 (1 ヶ月平均 8.7 件) |
| (カ) Twitter 投稿件数 | 472 件(1 ヶ月平均 39.3 件) |

(6) 教育普及活動

ア 教育普及活動の実施

- ・連携授業：京都産業大学「0/OCF-PBL2」（4月～11月）、大学コンソーシアム京都単位互換事業「京都ミュージアム PBL」（7月～1月）
- ・博物館実習の受入れ：1校 計1名（7/26～30）
- ・SDGs プログラムの試行（6/18、8/1、11/2、11/19、12/10）
- ・外部講座への出講：丹波学トーク（7/10）、京都市歴史資料館シンポジウム（10/2）、関西大学1年次向け講義（12/9）
- ・大分県アバター授業（遠隔授業）の受入れ：2校（12/23）

(7) 博物館関係コミュニケーション活動等

- ア 関西博物館連盟例会、研修会参加（2/2）
- イ 鉄道工友会 西日本支部 WEB 講演会参加（1/31）
- ウ 全国科学博物館協議会「令和3年度第2回総会、研究発表大会」出席及び発表（WEB 開催、2/17～18）

(8) 入館者数の状況（入館者数の詳細は「別表1」のとおり。）

(単位：千人)

| 項目 | 京都鉄道博物館 |
|-------|---------|
| 令和3年度 | 430 |

2 事務局における文化遺産調査及び交通資料の収集・保存に関する事項（交通資料調査センター）

交通に関わる文化遺産の調査や歴史資料の収集・保存については、交通文化の継承と資料の散逸防止及び今後の公益活動の充実のため、財団事務局内の交通資料調査センターにおいて引き続き活動を実施した。令和3年度においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、現地調査等を休止した時期があったものの、資料収集活動については令和2年度に続いて資料の寄贈申し込み件数が増加となった。主な交通に関わる文化遺産の調査及び交通資料の収集、保存、公開の活動は以下のとおりである。

(1) 交通関係歴史資料の収集・保存

交通に関わる歴史資料を適切な環境で保存、管理するため、収集、整理・整備を行い、写真資料や大型印刷物等の収蔵資料のデジタル化作業を実施した。また、大型の紙資料やガラス乾板について、保存フォルダや保存容器の更新を実施するなど資料の適正に合わせた保存環境の整備を進めた。

- ・図書・資料の購入 81点
- ・受贈 50件 11,597点
- ・資料・図書の整理・登録 資料 2,608点 図書 1,762点
- ・資料のデジタル化 9,150点

(2) デジタルアーカイブの運営

交通資料調査センターの所蔵資料をwebにて公開する、デジタルアーカイブ「交通文化振興財団デジタル資料館」の掲載データの追加等を実施した。

| | |
|------------|---------|
| 令和3年度末掲載点数 | 11,990点 |
| 令和2年度末掲載点数 | 9,973点 |
| 年度内追加点数 | 2,017点 |

(3) 文化遺産調査

日本各地に残された交通に関する施設や建造物、車両、文書等の文化遺産について、文化遺産の現状確認と来歴や諸元等を記録保存するための現地調査及び文献による事前事後調査を実施し、文化遺産の後世への継承に努めた。また、外部団体が発行する情報誌の鉄道遺産紹介企画に調査協力し、共同で現地調査を実施するとともに、その成果を基に記事原稿の執筆・監修を行った。

調査事物：23件

(4) その他

- ・財団ホームページの「事務局ブログ」を活用し、調査・資料収集の様子、収蔵資料に関する情報発信を行った。
- ・事務局内に図書の閲覧スペースを設置し、閲覧対応及び調査・研究への協力を実施した。
- ・外部有識者（大学教員）に交通資料調査センター特別調査員を委嘱し、活動における公益性の担保及び内容の充実を図った。
- ・現地調査の機会を利用して調査事物の管理団体や保存団体との情報交換を実施した。
- ・自治体や部外団体との連携により鉄道遺産などの交通に関わる歴史遺産の保存・活用に関する講演会やミニトーク、座談会に出講し、鉄道遺産や資料の保存の意義や実際について講演等を実施した。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響で実施を延期していた部外団体と共同での鉄道遺産の見学会について、鉄道150年となる令和4年度開催に向けて準備を進めた。

II 財団運営に関する事項

1 本年度の役員等の異動

(1) 評議員

《退任》 赤石 良治、坪根 英慈 以上 令和3年6月14日付

《新任》 伊藤 敦子、多田 真規子 以上 令和3年6月14日付

(2) 理事

《退任》 井口 亮資、福島 純、三浦 英之、村林 健吾 以上 令和3年6月14日付

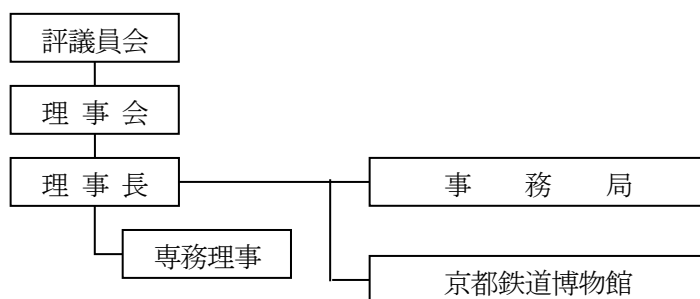
《新任》 木村 法雄、小澤 裕一、前田 昌裕、新田 雅巳 以上 令和3年6月14日付

令和4年3月31日現在の評議員、理事、監事は[別表2]のとおりである。

2 財団組織

(1) 組織

(令和4年 3月31日現在)



(2) 構成員

(令和4年 3月31日現在)

| 事業所名 | 職員 | 嘱託 | 計 |
|---------|----|----|----|
| 事務局 | 3 | — | 3 |
| 京都鉄道博物館 | 17 | 1 | 18 |

- ・役員を除く。
- ・京都鉄道博物館の職員のうち2名はJR西日本からの出向者。
- ・京都鉄道博物館の職員のうち3名は事務局兼務。
- ・上記以外に事務局にて臨時雇用員を2名、京都鉄道博物館にて準職員1名、臨時雇用員1名を雇用している。

(3) 会議

ア 評議員会

第18回評議員会（定時評議員会）

(ア) 日時 令和3年6月14日

(イ) 場所 ホテルグランヴィア大阪

(ウ) 目的事項

① 決議事項

第1号議案 令和2年度決算の件

- 第2号議案 評議員2名選任の件
- 第3号議案 理事7名選任の件
- 第4号議案 監事2名選任の件
- 第5号議案 常勤理事の報酬額の決定の件

② 報告事項

- 報告1 令和2年度事業報告の件

イ 理事会

第38回理事会（みなし決議）

- (7) 提案者 代表理事理事長 長谷川 一明
- (4) 提案の内容 第1号議案 令和2年度事業報告の件
第2号議案 令和2年度決算の件
第3号議案 第18回評議員会（定時評議員会）の招集の件
- (ウ) 報告事項 報告1 職務執行状況報告の件
報告2 西日本旅客鉄道株式会社に係る代表理事理事長の利益相反取引の報告の件
報告3 資金運用報告の件
- (エ) 決議及び報告があったとみなされた日 令和3年5月29日
(監事による異議（定款第38条第2項）なし)

(オ) 職務執行状況報告について

本理事会については、5月26日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発出により、定款第38条第2項に基づくみなし決議に変更となった。そのため、代表理事理事長及び代表理事専務理事の職務執行状況報告については、書面による報告とした。なお、本措置については内閣府公益認定等委員会事務局に確認の上実施したものである。

第39回理事会（みなし決議）

- (7) 提案者 理事 長谷川 一明
- (4) 提案の内容 第1号議案 代表理事理事長及び代表理事専務理事の選定の件
第2号議案 理事長に事故があるときの順序の件
第3号議案 重要な使用人選任の件
- (ウ) 決議があったとみなされた日 令和3年6月14日
(監事による異議（定款第38条第2項）なし)

第40回理事会（みなし決議）

- (7) 提案者 代表理事理事長 長谷川 一明
- (4) 提案の内容 第1号議案 使途を指定した特別寄附金受入れの件
第2号議案 基本財産追加の件
- (ウ) 決議があったとみなされた日 令和3年8月30日
(監事による異議（定款第38条第2項）なし)

第41回理事会

(7) 日 時 令和4年3月3日

(1) 場 所 ホテルグランヴィア大阪

(ウ) 目的事項

①決議事項 第1号議案 令和4年度事業計画書の件

第2号議案 令和4年度収支予算書の件

第3号議案 令和4年度資金調達及び設備投資の見込みの件

②報告事項 報告1 職務執行状況報告の件

本理事会については、理事1名がweb会議システム（Zoom）を用いての出席となった。

(4) 内閣府へ届出

・令和3年6月30日 事業報告等の提出

「令和2年度財産目録」「令和2年度貸借対照表」「令和2年度正味財産増減計算書」等

・令和3年7月14日 変更の届出（代表理事、役員等の変更）

「役員等の名簿」「履歴事項全部証明書」等

・令和4年3月31日 事業計画書等の提出

「令和4年度事業計画書」「令和4年度収支予算書」「令和4年度資金調達及び設備投資の見込みについて」、「第41回理事会議事録の写し」

3 寄附金の受入れ

個人及び団体より寄附金の申し込みがあり、下記のとおり受入れた。

・一般寄附金 個人 21件（うち継続寄附5件）

団体等 3件

・特別寄附金 個人 1件

4 その他

(1) 財団事務局ブログ運営

・更新34回、年度累計 114,638PV

(2) 寄附金の懇話活動

・ホームページ及び事務局ブログによる寄附お願いの掲載・発信

・団体、個人へのパンフレットの配布

・寄付月間（12月）の賛同パートナーへ登録し、期間中、事務局ブログでの周知、パンフレット・オリジナルカレンダーの送付等の寄附金懇話活動を実施。

(3) 職員等の一時帰休の実施

京都鉄博物館の臨時休館及び運営状況を鑑み、同館所属職員等の一時帰休を実施した。

・4月26日～5月11日に実施

Ⅲ 関連事業

博物館来館者の利便に資するとともに、当法人が健全な発展を図るための収益事業として、京都鉄道博物館にて鉄道に関する各種のグッズ、土産品、飲食物などの販売を行い、下記の収益を得た。

単位：円

| 項 目 | 物品販売収入 | 営業料収入 | 計 |
|-----|-----------|------------|------------|
| 金 額 | 4,166,500 | 13,664,018 | 17,830,518 |

[別表1]

令和3年4月1日～令和4年3月31日

| | 種 別 | | 令和3年度 (千人) |
|---------|-----|---------|---------------|
| 京都鉄道博物館 | 個人 | 大 人 | 280.7 |
| | | 大学生・高校生 | 11.4 |
| | | 中学生・小学生 | 38.0 |
| | | 幼 児 | 73.6 |
| | | 計 | 403.7 |
| | 団 体 | 大 人 | 6.2 |
| | | 大学生・高校生 | 1.5 |
| | | 中学生・小学生 | 10.6 |
| | | 幼 児 | 8.4 |
| | | 計 | 26.7 |
| | 合 計 | | 430.4 |

[別表 2]

評 議 員 名 簿

| 氏 名 | 現 職 |
|--------|--------------------------|
| 伊藤 敦子 | 東日本旅客鉄道株式会社 常務取締役 |
| 澤井 潔 | 公益財団法人鉄道総合技術研究所 監事 |
| 正司 健一 | 神戸大学名誉教授 |
| 多田 真規子 | 西日本旅客鉄道株式会社 理事総合企画本部副本部長 |
| 南條 正幸 | 関西鉄道協会 専務理事 |
| 福山 隆夫 | 京都駅ビル開発株式会社 相談役 |

理 事 名 簿

| 役 職 | 常勤・非常勤 | 氏 名 | 現 職 |
|-------|--------|--------|---------------------------------|
| 理 事 長 | 非常勤 | 長谷川 一明 | 西日本旅客鉄道株式会社 代表取締役社長 |
| 専務理事 | 常勤 | 前田 昌裕 | 公益財団法人交通文化振興財団 専務理事 |
| 理 事 | 非常勤 | 木村 法雄 | 東日本旅客鉄道株式会社 執行役員総務・法務戦略部長 |
| 理 事 | 非常勤 | 小澤 裕一 | 西日本旅客鉄道株式会社 理事コーポレートコミュニケーション部長 |
| 理 事 | 非常勤 | 佐伯 洋 | 一般社団法人日本鉄道車輛工業会 顧問 |
| 理 事 | 非常勤 | 高野 光司 | 公益財団法人日本交通公社 理事 |
| 理 事 | 非常勤 | 新田 雅巳 | 東海旅客鉄道株式会社 執行役員総務部長 |

監 事 名 簿

| 役 職 | 常勤・非常勤 | 氏名 | 現 職 |
|-----|--------|-------|----------------------|
| 監 事 | 非常勤 | 竹山 健二 | 公認会計士 |
| 監 事 | 非常勤 | 藤原 嘉人 | 西日本旅客鉄道株式会社 執行役員財務部長 |

令和4年3月31日現在 五十音順（敬称略）

令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成しない。

令和4年5月

公益財団法人交通文化振興財団